

はらっぱ

令和5年6月22日
山形市立南沼原小学校
学校だより 第3号
文責 校長：石澤 友章



「あるべき姿」と「なりたい姿」

～陸上記録会への取り組みから

陸上記録会に向けた練習会のオリエンテーションで、代表選手の皆さんに「あるべき姿」と「なりたい姿」というキーワードで、次のように激励メッセージを伝えました。

ユニフォームを着てピッチに立つ皆さんは、6年生から選ばれた南沼原小学校の代表選手です。競い合った結果、出場できなかった仲間や応援をしてくれる仲間のことを思えば、必然的にどんな風に練習に取り組むべきかがわかるはずです【あるべき姿】。そのうえで、この記録会に参加するにあたり、どんな目標を掲げ、それに近づいていくか、というなりたい自分を思い描くこと【なりたい姿】が、練習への強いモチベーションとなり、結果的に強い体と心をつくることにつながります。

約2週間の練習の様子を見ていると、自分たちの力を高めようと練習に取り組み、仲間と「今のうまいったね」「もうちょっと早めにスタート切るといいよ」などとコミュニケーションをとりながら、具体的に課題を解決していく姿に感心しました。本番で、思い通りに力を発揮できた人も、悔しい思いをした人も、その練習の過程はかけがえのない学習であったことに間違いはありません。選手の皆さんのさわやかな活躍ぶりを誇りに思います。



～届け！ 応援メッセージ

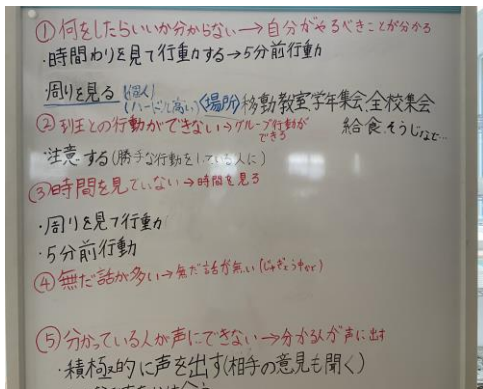
当日は、選手以外の6年生全員でスタンドから応援しました。応援リーダーが、先頭に立ち選手に大声援を送る姿は、地の利を生かした本校ならではの姿。応援団の前を通過するときの選手の走りぶりから、明らかに仲間の声と思いが届いていたことがわかります。この陸上記録会を一部の人のものにしない、という6年生としての「あるべき姿」をうれしく思いました。

入賞おめでとう！	男子1000m走	第5位	岡崎 颯さん	記録	3分20秒38
	女子走り高跳び	第6位	無着 凜さん	記録	1m15cm

自分の役割を自覚して ～宿泊学習の姿から～

宿泊学習を控えたある日、ふたりの5年生が校長室にきました。当日、学校での出発式で校長先生からのあいさつをお願いしたい、というものでした。校長先生がそういう時にあいさつするのは当たり前前と思うかもしれませんが、ふたりは「断られたらどうしよう」とばかりに真剣そのものです。いい加減に返事をしてはいけないと思い、しっかりと自分の予定表を確認することしばし。そして、「わかりました。大丈夫ですよ」と返事をする、一気に緊張がほぐれたかのような表情で「ありがとうございます！」と礼を言って出ていきました。たったそれだけのこともかもしれませんが、ふたりがいかに自分の役割を自分事として捉えて校長室に来たのかがよく伝わりました。子どもたちが考えたスローガン「自分の役割を意識して協力し、成長できる自然体験学習にしよう」が心に刻まれた事前学習を積み上げていることを感じました。

聞けば、2日間すべてが順調だったわけではなく、1日目のカレーはスープカレーの班が多かった



話し合ったことを記したホワイトボード（5年生ホールにて）

そうですが、その失敗を学びのチャンスとして成長につなげるために、2 日目にもカレーを選んだ子どもたち。2 回目はたくさんの班が上手にできたそうです。

学校に帰ってから、自分たちにとってのこれからの課題を話し合った5年生。この振り返りをしっかりやることで、行事が単なるイベントではなく、真の学習として価値あるものになります。高学年としての「あるべき姿」と「なりたい姿」を追究していく、これからの5年生に期待しています。

ネット・スマホ時代の子育て

学校教育においても「新しい文房具」としてのタブレットの使用が始まり、家庭でのゲームやスマホなども含めた情報機器の操作やそれらのメディアとの適切な接し方を考えていくことは避けて通れない時代を迎えています。

このことについて、私は2つの側面で課題に向き合うことが必要だと感じています。1つは、犯罪や事故などの被害者にも加害者にもならないためにどうするか。もう1つは、依存などによる脳に与える影響などの健康被害です。学校現場にいる者としては、特に後者に危機感を感じます。これまでの勤務校でも、深刻なゲーム依存により完全に昼夜が逆転し、学校にいる間のほとんどの時間を教室で寝て過ごす子どもや、起きてはいるもののまったく勉強しようとしないう子ども、ちょっとしたことで信じられないくらい怒りの感情をあらわす、いわゆる「キレル」子どもたちなどと出会いました。

私自身の興味関心もあり、昨年、子育て世代の親御さんを対象にした「メディアリテラシー」に関する研修会に参加しました。その中では、**①子どもの様子を知ること**（時間だけでなく、何にどう使っているかが重要） **②子どもと話し合ってルールを決めること**（守れなかったときは話し合い、決め直す） **③子どもの成長に合わせた管理をすること**（成長とともに、徐々に他律から自律へ）の3つが特に大切であることを学びました。何よりも大事なことは、最終的には自分で自分を管理できるようになること、すなわち自己指導能力を高めていくことだそうです。

また、子どもたちは大人の姿を見えています。メディアとの接し方に関して右の10の項目が示されました。あてはまるものがあるかどうか、子どもを守るためにも、私たち大人自身がまずは自己点検していくことが大切です。来月は、全学年で情報モラルに関する学習を行います。是非、子どもたちの学んだことをご家庭でも話題にしてみてください。

子どもは大人の姿を見えています ～私たち大人はできているでしょうか？～

- ①スマホ・タブレットにパスワードを設定している
- ②外でスマホやタブレットから身を離すことはない
- ③機器を利用中、常に外部の状況に気をつけている
- ④背後・横から覗かれないよう対策している
- ⑤運転中はスマホをさわらない
- ⑥歩きスマホをしていない
- ⑦ベッドや布団に入る前に利用を終わらせている
- ⑧一日の利用時間に配慮している
- ⑨食事中はスマホやタブレットを使わないようにしている
- ⑩目の前の相手よりスマホを優先したりしていない

うれしいお知らせ ありがとうございます！

先日、交通指導員の芦野さんが「この前1年生の子が 私の前を通過するときに『いつもありがとうございます！』って言うてくれたんですよ」と嬉しそうに教えてくださいました。1年生なりに感謝の気持ちをしっかり伝える様子を知り、こちらこそ嬉しくなりました。地域の皆様におかれましては、地域での子どもたちの素敵な姿を見かけましたら、是非学校までお知らせください。